

墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

( 案 ) 新旧対照表

第 1 条による改正 ( 墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例

( 平成 1 7 年墨田区条例第 8 号 ) )

改 正 案	現 行
<p>( 特定任期付職員に対する給与条例の規定の適用 )</p> <p>第 5 条 特定任期付職員に対する職員の給与に関する条例 ( 昭和 3 3 年墨田区条例第 1 9 号。以下「給与条例」という。 ) 第 4 条、第 2 1 条第 1 項及び第 2 項、第 2 4 条、第 2 6 条第 2 項、第 2 7 条第 2 項並びに第 2 7 条の 4 第 1 項の規定の適用については、給与条例第 4 条中「この条例」とあるのは「この条例及び墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例 ( 平成 1 7 年墨田区条例第 8 号。以下「任期付職員採用条例」という。 ) 第 4 条の規定」と、給与条例第 2 1 条第 1 項及び第 2 項中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第 2 4 条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第 4 条に規定する」と、給与条例第 2 6 条第 2 項ただし書中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に <u>1 0 0 分の 1 1 0</u> 」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に <u>1 0 0 分の 1 0 2 . 5</u> 」と、給与条例第 2 7 条第 2 項中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員にあっては、 <u>1 0 0 分の 1 3 7 . 5</u> 」とあるのは「特定任期付職員にあっては、 <u>1 0 0 分の 9 5</u> 」と、給与条例第 2 7 条の 4 第 1 項中「第 1 0 条の規定により指定する職員」と</p>	<p>〔同左〕</p> <p>第 5 条 特定任期付職員に対する職員の給与に関する条例 ( 昭和 3 3 年墨田区条例第 1 9 号。以下「給与条例」という。 ) 第 4 条、第 2 1 条第 1 項及び第 2 項、第 2 4 条、第 2 6 条第 2 項、第 2 7 条第 2 項並びに第 2 7 条の 4 第 1 項の規定の適用については、給与条例第 4 条中「この条例」とあるのは「この条例及び墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例 ( 平成 1 7 年墨田区条例第 8 号。以下「任期付職員採用条例」という。 ) 第 4 条の規定」と、給与条例第 2 1 条第 1 項及び第 2 項中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第 2 4 条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第 4 条に規定する」と、給与条例第 2 6 条第 2 項ただし書中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員の期末手当の額は、職員の給与月額に <u>1 0 0 分の 1 0 7 . 5</u> 」とあるのは「特定任期付職員の期末手当の額は、職員の給与月額に <u>1 0 0 分の 1 0 0</u> 」と、給与条例第 2 7 条第 2 項中「第 1 0 条第 1 項の規定により指定する職員にあっては、 <u>1 0 0 分の 1 3 5</u> 」とあるのは「特定任期付職員にあっては、 <u>1 0 0 分の 9 2 . 5</u> 」と、給与条例第 2 7 条の 4 第 1 項中「第 1 0 条の規定により指定する職員」と</p>

あるのは「特定任期付職員」とする。

別表第 1

特定任期付職員給料表

号給	給料月額
	円
1	<u>408,000</u>
2	<u>451,000</u>
3	<u>503,000</u>
4	<u>566,000</u>
5	<u>639,000</u>
6	<u>725,000</u>
7	<u>821,000</u>

あるのは「特定任期付職員」とする。

別表第 1

特定任期付職員給料表

号給	給料月額
	円
1	<u>392,000</u>
2	<u>433,000</u>
3	<u>483,000</u>
4	<u>544,000</u>
5	<u>614,000</u>
6	<u>697,000</u>
7	<u>789,000</u>

第 2 条による改正（墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例）

改 正 案	第 1 条による改正後
<p>（特定任期付職員に対する給与条例の規定の適用）</p> <p>第 5 条 特定任期付職員に対する職員の給与に関する条例（昭和 33 年墨田区条例第 19 号。以下「給与条例」という。）第 4 条、第 21 条第 1 項及び第 2 項、第 24 条、第 26 条第 2 項、第 27 条第 2 項並びに第 27 条の 4 第 1 項の規定の適用については、給与条例第 4 条中「この条例」とあるのは「この条例及び墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成 17 年墨田区条例第 8 号。以下「任期付職員採用条例」という。）第 4 条の規定」と、給与条例第 21 条第 1 項及び第 2 項中「第 10 条第 1 項の規定により指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第 24 条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第 4 条に規定する」と、給与条例第 26 条第 2 項ただし書中「第 10 条第 1 項の規定により指定する職員の期末手当の額は、</p>	<p>〔同左〕</p> <p>第 5 条 特定任期付職員に対する職員の給与に関する条例（昭和 33 年墨田区条例第 19 号。以下「給与条例」という。）第 4 条、第 21 条第 1 項及び第 2 項、第 24 条、第 26 条第 2 項、第 27 条第 2 項並びに第 27 条の 4 第 1 項の規定の適用については、給与条例第 4 条中「この条例」とあるのは「この条例及び墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例（平成 17 年墨田区条例第 8 号。以下「任期付職員採用条例」という。）第 4 条の規定」と、給与条例第 21 条第 1 項及び第 2 項中「第 10 条第 1 項の規定により指定する職員」とあるのは「特定任期付職員」と、給与条例第 24 条中「この条例に定める」とあるのは「この条例及び任期付職員採用条例第 4 条に規定する」と、給与条例第 26 条第 2 項ただし書中「第 10 条第 1 項の規定により指定する職員の期末手当の額は、</p>

<p>職員の給与月額に<u>100分の108.75</u>」 とあるのは「特定任期付職員の期末手当の 額は、職員の給与月額に<u>100分の101. 25</u>」と、給与条例第27条第2項中「第 10条第1項の規定により指定する職員に あつては、<u>100分の136.25</u>」とあ るのは「特定任期付職員にあつては、<u>10 0分の93.75</u>」と、給与条例第27条 の4第1項中「第10条の規定により指定 する職員」とあるのは「特定任期付職員」 とする。</p>	<p>職員の給与月額に<u>100分の110</u>」とあ るのは「特定任期付職員の期末手当の額は、 職員の給与月額に<u>100分の102.5</u>」 と、給与条例第27条第2項中「第10条 第1項の規定により指定する職員にあつて は、<u>100分の137.5</u>」とあるのは 「特定任期付職員にあつては、<u>100分の 95</u>」と、給与条例第27条の4第1項中 「第10条の規定により指定する職員」と あるのは「特定任期付職員」とする。</p>
---	--

## 付 則

### ( 施行期日等 )

- 1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、令和8年4月1日  
から施行する。
- 2 第1条の規定（第5条の改正規定を除く。）による改正後の墨田区の一般職の任期  
付職員の採用及び給与の特例に関する条例（以下「第1条による改正後の条例」とい  
う。）の規定は、令和7年4月1日から適用する。

### ( 給与の内払 )

- 3 第1条による改正後の条例の規定を適用する場合においては、同条の規定（第5条  
の改正規定を除く。）による改正前の墨田区の一般職の任期付職員の採用及び給与の  
特例に関する条例の規定に基づいて支給された給与は、第1条による改正後の条例の  
規定による給与の内払とみなす。

### ( 委任 )

- 4 前項に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、特別区人事委員会  
が定める。